

えんちょう通信

No. 4 0

令和 3 年 4 月 1 6 日

福島市立清水幼稚園

発行者 佐藤 一男

子どもたち一人一人を大切に育てていきます

4月15日(木)、入園したばかりの年少組の子どもたちが、ラーメン作りに挑戦しました。最初に黄色い色画用紙をハサミで細く切って、お椀に入れます。4歳の子どもたちです。親指と人差し指、中指をうまく動かして紙を細く切っていくのはなかなか難しい作業です。麺ができたらそこに、先生が用意しておいてくれたワカメとねぎをのせます。そして最後に、なんととチャーシューを添えてラーメンの完成です。子どもたちはもう大喜びです。割りばしをパチンと割って、おいしそうにラーメンを食べはじめました。「いただきます。」「ごちそうさま。」も、きちんとできました。来週からは、年少組もお弁当になりますが、これでもう安心です。



外から見るとただのラーメン屋さんごっこに見えますが、その中にはハサミの使い方や箸の持ち方、食事の時の挨拶など、たくさんの学びがあります。

コロナ禍の中、まだまだ先の見えない厳しい状況が続いていますが、子どもたちにとっては一日一日が、かけがえのない学びの時間です。今年度も全職員7名、力を合わせて、子どもたち一人一人を大切に育てていきます。どうぞよろしくをお願いします。

外から見るとただのラーメン屋さんごっこに見えますが、その中にはハサミの使い方や箸の持ち方、食事の時の挨拶など、たくさんの学びがあります。

令和3年度の教育の方針

今年度は、次のような方針で、教育活動を進めていきます。ご理解・協力をお願いします。

- ◎ 幼児が進んで『よい生活習慣・学びの習慣』を身につける
 - 遊びや生活の中で、よい生活習慣・学びの習慣を進んで身につけるよう丁寧に援助する。
・『挨拶 返事 さわやかな応答』の習慣 ・絵本を見たり読んだりする習慣など
- ◎ 豊かな体験活動を展開し、幼児の『主体性』を育てる
 - 幼児がその日の活動や思いを言葉にして共有する場と時間をつくる。
 - 小学校との日常的なかかわりを深める。 (例)「小学校探検に行こう」
 - 飯坂線の電車を活用し、世界を広げる。 (例)「美術館に絵を観に行こう」
 - 地域の自然環境を生かした保育を進める。 (例)「山岸農園でぶどう狩りをしよう」
 - 地域の文化に触れる機会をもつ。 (例)「八幡神社に遊びに行こう」
 - 体験活動を振り返り、次の活動へつなぎ、発展させる工夫をする。
- ◎ 『保育の質の向上』を図る
 - 保育を振り返り、保育の改善を進める。(リフレクション)
『幼児の可能性を信じる眼差しと丁寧な応答』
 - 保護者や地域の方々の方々のボランティアを積極的に活用する。
 - こぐまの会(子育てサークル)の活動を支援し、充実する。
 - 保育活動の様子を園外に積極的に発信する。

